

つなぐ



＜設立状況(R5.2.1) 全41地区中＞
 まちづくり協議会 30(32 地区)
 まちづくり協議会準備会 0(0 地区)

Vol. 47

発行：松山市役所 まちづくり推進課 TEL: (089) 948-6963 FAX: (089) 934-1821

H P : <https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/chiikicommunity/tikudayori.html>

Facebook : <https://www.facebook.com/machijoho>

Facebook まちづくり協議会情報局



高縄山麓号の運行

←友人がお見送り👋



立岩地区のシンボルマーク
スマイリー と タティワン



防災倉庫の設置

立岩地区まちづくり協議会の 取り組み

立岩地区まちづくり協議会は設立されて、4月で6年目を迎えます。立岩まち協が令和4年に取り組んだ主な活動やこれまでの活動を紹介します。

まず、産業振興部が中心となり、立岩産の農産物などをアピールするシンボルマークを決定しました。今後、太陽市や風和里などに出荷される農作物にこのマークを貼る予定なので、見かけたら手に取ってみてください。

次に、防災の取り組みです。今年度避難所となる立岩小学校に防災倉庫を設置しました。今後は備蓄品や資機材を充実させる予定で、安全・安心のまちを目指しています。

また、路線バス廃線に伴い始まった予約制乗合タクシー「高縄山麓号」の本格運行を目指しています。地域振興部を中心に参画する「立岩コミュニティ交通を考える会」では、実態把握や利用者の意見集約など、より良い制度に向けた協議を行っています。

このほかにも、松山市SDGs推進協議会に加盟し、各団体で勉強会を開催しています。持続可能な発展のために、SDGsの理念を基本に事業を推進しています。



各団体のデジタルへの取り組み



潮見地区まちづくり協議会 デジタル研修会

潮見地区まちづくり協議会が、愛媛県と県内市町が協働して実施する「地域コミュニティのデジタル化支援」を活用し、デジタル研修を全4回受講しました。現在、愛媛県内では、コミュニティのデジタル化支援やスマートフォン教室などを通じた地域の方々のデジタル技術向上の取り組みが進んでいます。



研修会では、LINEやZoomをダウンロードし、基本的な操作方法やトーク・会議の進め方など、実際に端末を触りながら操作方法を学びました。講師以外にもスタッフが複数名いて、わからないところがあれば、マンツーマンで研修を受けました。



最後の講座では、個人の自宅やまち協事務所などそれぞれの場所でZoomを使ってオンライン会議に参加しました！



これらのツールを使うことで、活動が広がれば！

和気あいあいとした研修で楽しかった！

これから研究していきたい

三役会ならZoomを使って開催できるかも？



最近よく聞く!? 「DX (ディーエックス)」とは？

「DX」とは（デジタル トランスフォーメーションの略）一般的には、デジタル技術による社会経済の大きな変化(変革)を意味します。愛媛県が策定する「デジタル総合戦略」の中では



「行政や住民・事業者等が、デジタル技術も活用して、住民本位の行政を実現し、地域社会等を再構築するプロセス」

と定義しています。

皆さんの周りでも便利になったと感じることが増えていませんか。例えば、輸送にコストがかかる地域でのドローンを用いた荷物輸送や空港での待ち時間予測システムの提供などです。利用者や企業に利便性の向上などをもたらす「DX」は、様々な場面で起きています。皆さんもぜひ身近なDXを探してみてください。



垣生地区まちづくり協議会 電子写真

垣生地区まちづくり協議会が、『「はぶのまち」電子写真』というウェブサイトを開設しました。サイトには、住民から集めた垣生地区にまつわる写真が掲載されています。



写真をデジタルで保存することで、だれでもいつでも当時の様子を見ることができるようになりました。時代とともに変化する「垣生の町」の姿を後世に残したいという思いから始まったプロジェクトです。

今後も、住民の方に情報提供をいただき、どんどん写真を充実させていくそうです！ぜひご覧ください！



「はぶまちきょう」とインターネットで検索 もしくは右のQRコードをスマートフォンで読み取るとウェブサイトを見ることができます。



各団体との連携

立岩地区まちづくり協議会は、地域の各団体と連携した取り組みを進めています。

まず、地域の各団体が協力して開催する「高縄山麓市場」のサポートです。地区内外から多くの方が訪れ、人気商品はすぐに完売するほど大盛況です。毎月第4日曜日の9時からJ A えひめ中央立岩経済センターで開催していますのでぜひお越しください。



台唐(だいがら)を使い
山麓市場で販売するもちをつく様子



鏡餅の
イルミネーション

今、私たちにできることって???

大好きな立岩を守ろう！
いろいろな人に立岩を好きになってもらおう！



立岩小学校とツツジ

また、立岩地区の小中学生で結成される「子ども会議」の活動にも協力しています。立岩小学校でのイルミネーションの点灯、SDGsを考える勉強会の開催など子どもたちの主体的な活動を応援しています。

皆が笑顔で暮らすことができる立岩を持続していくために、立岩地区まちづくり協議会は自分たちにできることを探しながら活動しています。

第42回 まちづくりで 輝く 人

地域で活躍している人を紹介します

立岩地区まちづくり協議会
産業振興部長兼健全育成部長
横林 徳幸 さん



経歴

柑橘栽培に携わって11年。安心安全・はじめに栽培し信頼のある美味しい柑橘づくりを目指しています。

今回の表紙を飾った、立岩まち協の活動で尽力されている横林徳幸さんを紹介します。

【立岩地区はどのようなところですか？】

松山北部の山間部で高縄山や立岩川などの豊かな自然環境の中、野菜・果物など美味しい農産物に恵まれている地区です。少子高齢化の課題はありますが、住民は元気で、区長会、公民館を中心とした組織力、結束力、実行力があります。合言葉「好きです！立岩」に象徴されるように地域住民の地元への愛着心が強いと感じています。

【まちづくり協議会でどんな活動をしていますか？】

立岩の魅力を発信できたらと思い、立岩のマーク(立岩シール)の配布を進めています。この立岩シールは、立岩小学校で使っているキャラクター(タティワン・スマイリー)を立岩の為に使ってもよいという許可をいただき、利用する運びとなりました。

【まち協で活動していて良かったこと】

まちづくりは、一人ひとりの力が重なり活動的になると考えています。立岩シール作りを通して、有志の方の協力はもちろん、まち協役員、立岩公民館をも巻き込んで一つの目標に向かって進められることに感謝していますし、未来への展望が持てます。

【今後の目標や抱負を教えてください。】

立岩シールを利用した立岩の農業生産者の意識が、一層高まることを期待しています。また、多くの方に立岩地区の魅力を知っていただくことで、立岩地区がより活動的になればと思っています。一人ひとりのちよとした工夫や努力の結果がさらに膨らんでいくと良いと思います。